

てん じん みね

日高市 天神峯遺跡

第 2 次調査

平成 26 年度調査

1 区

2 区

3 区

平成 27 年度調査



天神峯遺跡は日高市北平沢地区にあります。
 公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団では、県道飯能寄居線の建設工事に先立ち発掘調査を実施しています。天神峯遺跡は高麗川左岸の入間台地上に立地し、北側には高麗川支流の宿谷川が東流しています。

今回で 2 回目となる発掘調査では、縄文時代早期 (約 7,000 年前) の炉穴や縄文時代中期 (約 4,500 年前) の竪穴住居跡、狩猟に使われたと思われる落とし穴などが発見されています。

その他に、平安時代 (1,100 年前) の住居跡も発見され、かつてこの地に住んでいた人々の暮らしをうかがうことができます。



●縄文時代

①縄文時代の^{たてあな}竪穴住居跡
約4,500年前の竪穴住居跡です。煮炊きに使用した土器の破片が出土しました。



②落とし穴

動物を獲えるための深い穴です。底に槍のように先端が尖った杭を立てたと思われる穴が見つかりました。



- 凡例
- 竪穴住居跡 (縄文)
 - 竪穴住居跡 (平安)
 - 溝跡
 - 焼土遺構
 - 炭焼き窯
 - 土壌
 - 炉穴跡
 - 包含層

●平安時代



④平安時代の竪穴住居跡

カマドが確認され、^{はじき}土師器の甕や^{かめ}須恵器の坏が出土しました。



※「賀厨」とは^{かみ}賀美郡 (上里町) の^{くりや}厨家 (給食センター) を指すと思われます。

③縄文時代の墓 (約7,000年前)

埼玉県では類例のない土器が出土しました。長野県との交流がうかがえる珍しい土器です。

⑤「賀厨」の墨書土器が出土しました。

平成26年度調査 1区

(S=1/1,250)